

畜産いしかわ

LIVESTOCK INDUSTRY OF ISHIKAWA

地活44号 発行人：石川県 平成16年3月22日発行

石川県
南部家畜
保健衛生所

高病原性鳥インフルエンザ について

病性鑑定課
村上 俊明

鳥インフルエンザは、A型インフルエンザウイルスの感染により引き起こされる家禽類を含む鳥類の疾病です。そのうち病原性の強いウイルスの感染により起こる甚急性で高い致死率を示す鶏、あひる、うずら又は七面鳥の疾病を高病原性鳥インフルエンザといいます。

わが国での発生は、1926年以降認められていませんでしたが、本年1月、山口県の採卵鶏農場において79年ぶりに発生、2月には大分県でも発生し、いずれも高病原性のH5N1亜型であったことが確認され、国内での汚染拡大が危惧されています。

海外では、1980年以降、米国、メキシコ、香港、オランダなどで発生、さらに韓国、タイ、中国本土でも次々と発生が確認されています。特に、1997年の香港における鳥から人への直接感染例の出現以降、本疾病は人畜共通感染症として、公衆衛生学的にも重要であることが指摘され、関心を集めています。

インフルエンザウイルスは、RNAウイルスで抗原性によりA、B、C型に分類され、鳥類に感染するのはA型のみであり、A型ウイルスの表面には2種類の蛋白質（HAおよびNA蛋白）が存在し、その組み合わせにより亜型が決定されます。

わが国では、国際獣疫事務局による判定基準で

高病原性鳥インフルエンザウイルスと判定されたA型インフルエンザウイルス及びH5若しくはH7亜型のA型インフルエンザウイルスの感染による鶏、あひる、うずら又は七面鳥の疾病をいいます。

本病の症状は多様で、主要なものは、突然の死亡率上昇が特徴的で、呼吸器症状、顔面、肉冠若しくは脚部の浮腫、出血斑若しくはチアノーゼ、産卵率の低下若しくは産卵停止、神経症状、下痢などがあります。

鳥インフルエンザウイルスは、カモ等の水禽類が本来の宿主であり、カモ由来の鳥インフルエンザウイルスは鶏には簡単には感染することはなく、鶏に感受性を獲得したウイルスのみが鶏間で容易に伝播出来ると考えられています。鶏が野鳥由来の鳥インフルエンザに接触する機会が多ければ、鶏に感染性を持つようなウイルスの出現チャンスも多くなることから、鶏を野鳥に接触させないことが鳥インフルエンザ防疫上重要です。

わが国では、2003年10月「高病原性鳥インフルエンザ防疫マニュアル」を制定、発生時の防疫措置等について定められ、発生時のあつた山口、大分県でもこのマニュアルに沿って、発生場所の消毒、周辺における移動制限、疫学調査の実施等必要な防疫措置がとられています。

本県では、家畜保健衛生所により動物由来感染

目次

CONTENTS

- 高病原性鳥インフルエンザについて …… 1
- 石川県内自給飼料の分析結果について …… 2
- 集団放牧育成による健全な繁殖
基礎牛の育成は農林業公社牧場で …… 3
- 全農牛肉トレーサビリティ
システムについて …… 4
- 第9回石川県和牛共進会無事終了!! …… 5
- 第15回石川県肉牛枝肉
共励会開催される …… 6
- 県産豚肉の消費拡大を図る! …… 6



石川県
畜産協会は

石川県及び中央畜産会との連絡協調と、会員各位の理解と協力のもとに、国際競争力を念頭においた経営改善指導と情報提供等に努めています。
そして生産性と収益性が高く足腰の強い高産経営の育成にお手伝いします。

症監視体制整備事業でモニタリングを実施し、本症の監視を行っています。また、山口県での発生以降、家畜保健衛生所では県内養鶏農家等への立入検査、巡回指導を実施し、監視体制を強化しているところです。

わが国には、多数の渡り鳥が飛来し、その渡り

鳥からも鳥インフルエンザが分離されていて、そのなかには高病原性となりうる株も含まれています。このような状況で鶏群にウイルスを侵入させないためには、鶏群の野鳥からの隔離や徹重な消毒、出入り規制等であり、通常の一般衛生管理が有効な防疫方法となります。

石川県
畜産総合
センター

石川県内自給飼料の 分析結果について

飼料環境科
荒邦 昌宏

1. はじめに

石川県畜産総合センターでは昭和58年に自給飼料分析指導センターを設置し、県内で生産された自給飼料等の栄養成分の分析を実施しています。

今回、平成10年度から14年度までの自給飼料等の分析結果を取りまとめたので、その概要を報告します。

2. 分析点数の概要

自給飼料等の分析点数は、年平均288点となっており、平成13年度が多かった他は概ね毎年同様の分析点数となっています。平成13年度が多かったのは、飼料イネと立毛ソルガムの生草分析が増えたためです。

農林総合事務所別の分析点数は、津幡管内が全体の約46%を占めており、石川、珠洲、輪島の順となっています。津幡は大部分が河北潟酪農団地からのものであり、分析点数は毎年100点を超えています。

草種別の分析点数は、乾草が全体の約30%を占め、ついで永年牧草、イタリアンライグラス、コーンサイレージの順となっています。

3. 分析結果の概要

平成10年度から14年度までに県内で生産された自給粗飼料のうち、コーンサイレージ(150点)、永年牧草1番草サイレージ(136点)、イタリアンライグラス1番草サイレージ(133点)の3草種について、DM(乾物率)、CP(粗蛋白質)、TDN(可消化養分総量)、OCC+Oa(細胞内消化成分)の年度別平均値を、県内の昭和58~62年度の分析値及び日本標準飼料成分表(2001)と比較しました。

1) コーンサイレージ (CS)

DMは、平均40%前後で推移しており、適期刈り取り(黄熟期)が行われていると思われま。

平成10年度は、CPが5.7%と低く、TDNも若干低くなっており、刈り遅れや雑草等の混入が原因と考えられます。

2) 永年牧草1番草 (MX)

DMは、平成10年度の55%から平成14年度には65%と、年々低水分サイレージ化の傾向が見られます。

平成10~13年度は、TDN、OCC+Oaの値が飼料成分表の値と同等であり、安定したサイレージが調製されていたと考えられます。しかし、平成14年度は、CP、TDN、OCC+Oaの値がともに低くなっています。このことから平成14年度の永年牧草1番草は刈り遅れ傾向にあったと言えます。

3) イタリアンライグラス1番草 (IR)

DMは、平均54.1%と低水分化の傾向が見られますが、年度により変動が大きくなっています。

平成11年度のTDN、OCC+Oaの値が高く、適期刈り取り(出穂期)が行われ、栄養価の高いサイレージが調製されていたと言えます。

4. おわりに

自給飼料分析指導センターでは自給飼料の分析を随時行っており、平成15年12月からは硝酸態窒素の簡易測定も合わせて行っております。自給飼料の分析を希望される方は管内の農林総合事務所の畜産担当普及員に相談して下さい。

表1 草種別分析点数

	乾草	サイレージ					合計
		MX	IR	CS	その他*1	その他*2	
H10	63	58	42	31	18	42	254
H11	77	38	17	44	28	62	266
H12	88	43	31	18	22	100	302
H13	88	23	33	22	24	152	342
H14	116	23	35	35	24	44	277
合計	432	185	158	150	116	400	1,441
割合	30%	13%	11%	10%	8%	28%	

*1：スーダン、ソルガム、イネホークロップサイレージ等 *2：生草、TMR等

表2 草種別年度別分析値の平均

	CS	H10	H11	H12	H13	H14	H10～H14 平均	S58～S62 平均	飼料成分表 (2001)
DM	41.8	41.7	39.2	35.7	37.2	39.5	—	40.0	
CP	5.7	8.0	8.4	9.4	9.0	8.0	—	8.0	
TDN	62.9	63.5	66.0	63.4	65.0	64.0	—	65.9	
OCC+Oa	56.4	53.8	57.2	52.7	54.5	54.7	—	—	

	MX	H10	H11	H12	H13	H14	H10～H14 平均	S58～S62 平均	飼料成分表 (2001)
DM	55.1	59.3	57.6	64.4	65.8	58.9	47.5	48.0	
CP	11.1	11.5	13.2	13.6	10.2	11.8	11.9	11.7	
TDN	56.5	57.1	56.9	57.4	53.9	56.4	53.1	56.5	
OCC+Oa	40.3	40.4	40.2	40.6	33.7	39.4	36.1	41.3	

	IR	H10	H11	H12	H13	H14	H10～H14 平均	S58～S62 平均	飼料成分表 (2001)
DM	51.6	61.7	56.2	55.7	50.2	54.1	44.1	44.4	
CP	10.4	8.9	8.4	10.3	8.5	9.5	10.1	11.7	
TDN	52.9	57.8	54.8	55.3	54.2	54.6	55.6	61.5	
OCC+Oa	36.4	42.4	37.7	39.9	36.7	38.1	41.4	36.6	

日本標準飼料成分表（2001）の値は、CS：黄熟期、MX、IR：出穂期

石川
県
農林業
公社

集団放牧育成による健全な繁殖 基礎牛の育成は農林業公社牧場で

平成16年度受託放牧事業計画

農林業公社が管理運営する各放牧場における平成16年度の哺育牛、育成牛の受託放牧事業については、下記のとおり計画しています。畜産農家の労力軽減と集団放牧育成による健全な繁殖基礎牛の育成にご活用願います。

なお、受託頭数、入牧月齢及び受託期間については、変更することもありますので、放牧場の各回ごとの実施要領に従って申し込み願います。



農林業公社富来



農林業公社辰口

1 育成牛の受託計画

牧場名	入牧日	募集頭数
内浦放牧場	H16. 6. 16	105頭
辰口放牧場	H16. 6. 23	110頭
富来放牧場	H16. 9. 29	50頭
内浦放牧場	H16. 10. 27	105頭
辰口放牧場	H16. 11. 17	110頭
富来放牧場	H17. 3. 15	50頭

2 哺育牛の受託計画

牧場名	入牧日	募集頭数
富来放牧場	公社の指定日	150頭

3 問合せ先（電話番号）

農林業公社畜産振興課 ☎076-222-1677
 辰口放牧場 ☎0761-51-2411
 富来放牧場 ☎0767-42-2624
 内浦放牧場 ☎0768-72-2182

農林業公社のホームページに、放牧場の様子などを載せていますので、一度ご覧下さい。

ホームページアドレス
<http://www.ishi-rin.or.jp/noukou/index.html>

全農牛肉トレーサビリティ システムについて

平成15年6月成立の「牛の個体識別のための情報管理及び伝達に関する特別措置法」(牛および牛肉トレーサビリティ法)において、牛個体識別番号の消費者までの伝達が義務づけられました。

施行時期 ①生産段階(出生～と畜)
:平成15年12月1日
②流通段階(枝肉販売～小売)
:平成16年12月1日

全農牛肉トレーサビリティシステムは、牛個体識別番号をもとに、

- ①システムの持つ遡及機能と追跡機能を活用し、商品由来による危害が発生した場合に、その原因を調査し、同じ危害の発生が想定される商品群をすみやかに回収する。
- ②牛肉の生産履歴等について、県別に作成したホームページをインターネットを介して、量販店等および消費者に公開する。

この2つの機能により、国産牛肉の安全性に対する消費者の信頼確保等を図ることを目的に開発されました。

全農石川県本部畜産部においては、平成15年12月に同システムを導入し、平成16年1月より、県内肉牛肥育農家の協力を得て、全農が集荷した石川県産牛の生産・流通履歴情報を同システムに蓄積しています。

また、2月20日には、(株)ジャコム石川Aコープつばた店において、牛個体識別番号を牛肉パックシールに印字するとともに、店内パネル等によりインターネットアドレスを表示し、消費者が自宅のパソコンで牛個体識別番号に基づき検索することにより、牛肉の生産履歴情報等を知ることができるシステムの運用を開始しました。

Aコープつばた店では、販売牛肉の情報を次により公開しています。



トレーサビリティ

①石川県産 和牛の場合

……全農石川県本部牛肉トレーサビリティシステムにアクセス

<http://tr1.zennoh.or.jp/is/b>

- (1) 生産履歴の紹介
 - ・農家の顔写真
 - ・生産履歴証明書
……肥育者名・住所・品種・性別・生年月日・出荷月日・移動履歴
主な給与飼料
 - ・BSE検査証明書
 - ・子牛証明書(血統書)
- (2) 銘柄牛の紹介(能登牛)
- (3) 飼料の解説

②それ以外の国産牛肉の場合

……独立行政法人家畜改良センターホームページにアクセス

<http://www4.id.nlbc.go.jp/top.html>

- (1) 牛個体情報 ……生年月日・性別・品種
- (2) 飼養場所の履歴
……飼養地・異動内容・異動年月日、肥育者等の住所・氏名または名称

初日の20日は、Aコープつばた店の精肉売場前にパソコンを設置し、ホームページを閲覧するデモンストレーションを行ったところ、多くのお客様に当日販売した「能登牛」の生産履歴情報に触れて頂くことができました。

今後、全農石川県本部は、システム利用店舗数を増やし(3月中に数店舗増加見込み)、石川県産牛肉の付加価値情報を消費者に提供する体制を整備することにより、石川県産牛肉への信頼を拡大し、地産地消の促進を図って行きたいと考えています。

第9回石川県和牛共進会 無事終了!!

昨年11月8日（土）輪島市三井町の石川県健康の森において石川県和牛共進会の繁殖の部が開催されました。3年に一度開催される本共進会も9回目を迎え、県内各市町村より選抜された、和牛の繁殖牛（経産牛30頭、未經産牛15頭）45頭により、全国和牛登録協会の小野原先生を審査委員長として厳選に審査が行われました。第1部は珠洲市の干場辰雄さんが農林大臣賞を第2部は柳田村の畜産総合センター、第3部は穴水町の浦谷謙太郎さんがそれぞれ北陸農政局長賞を受賞しました。前日からの会場設営には生産者や関係者のご協力を頂き無事終了できたことに感謝を申し上げます。

なお、今回は消費者を交えた畜産物の消費拡大関連行事として ◎能登牛試食コーナー ◎能登牛鍋 ◎乳製品の試飲・試食 ◎子牛

体重当て ◎ポニー乗馬 ◎ミニ動物園 ◎牛肉や農畜産物の即売等を実施致しましたが、たくさんのご来場により盛会に終了しました。上位入賞者の皆さんは次のとおりです。

また、肥育の部は10月4日（土）和牛25頭により食肉センターにおいて開催されましたが、上位入賞者の方々は次のとおりです。



第1部（経産牛）

区分	名号	父	住所	氏名
優秀賞1席	ほしたつ114	高栄	珠洲市	干場 辰雄
◇ 2席	まさみ	紋次郎	柳田村	西原 光臣
◇ 3席	やなぎ529	北国7-8	柳田村	畜産総合センター
◇ 4席	ささ41	北国7-8	柳田村	山口 善一
◇ 5席	ひろみ	谷茂	輪島市	岡部 周作
◇ 6席	ふゆこ	北国7-8	輪島市	岡部 周作

第2部（未經産牛）

区分	名号	父	住所	氏名
優秀賞1席	やなぎ627	北仁	柳田村	畜産総合センター
◇ 2席	みつ3	北人	柳田村	大畑 正治
◇ 3席	いはずか10	安平照	珠洲市	古谷 三郎

第3部（肥育牛）

区分	父	母の父	格付	住所	氏名
優秀賞1席	照幸重	北国7-8	A-5	穴水町	浦谷謙太郎
◇ 2席	美津福	北国7-8	A-5	能都町	瀬戸 正造
◇ 3席	美津福	北国7-8	A-5	能都町	瀬戸 正造
◇ 4席	福谷福	北国7-8	A-4	珠洲市	中社 才司
◇ 5席	第7安福	福金	A-4	志賀町	板倉 久

石川
県
肉用牛
協会

第15回石川県肉牛枝肉共励会 開催される

昨年の12月6日、石川県金沢食肉流通センターにおいて、第15回石川県肉牛枝肉共励会が盛会に開催されました。

出品は去勢牛21頭、雌牛4頭の計25頭が出品され、日本食肉格付協会東海北陸支所長の大澤先生を審査委員長として審査委員6名により、脂肪交雑、締めきまり等を中心に厳選に審査が行われました。

今回の出品牛は全体的に脂肪交雑が弱く物足りなさを感じましたが、平均で枝肉重量411kg、ロース芯面積50.6cm、BMS4.7 BCS4.5の数値でした。

最優秀賞の石川県知事賞には能都町の瀬戸正造さんが受賞され、共励会終了後には福井県と合同の販売会が行われ、地元志向を反映してか高値で取引されました。

石川
県
養豚協会

県産豚肉の消費拡大を図る！

去る10月18日（土）～19日（日）、石川県産業展示館で開催された農林漁業まつりにおいて、県産豚肉の消費拡大を図るためのイベントを行いました。

両日は秋晴れの穏やかな天候で大勢の家族連れ等が来場し、当ブースでは県産豚肉加工品を対象としたダーツゲーム、重量当てクイズ、アンケートを実施致しました。さらに、県内生産者の顔写真パネルを展示し、来場者に「顔の見える安心・安全な県産豚肉」としてPRしたところ、大変盛況でした。また県内生産者の顔写真パネルの前で足を止め、「安全で美味しい豚肉を提供してほしい」、「頑張



って下さい」と生産者を励ます声も聞かれました。

編集後記

去る1月12日に我が国で79年ぶりに高病原性鳥インフルエンザが発生しました。

その後も新たに発生しておりますが、養鶏関係者におかれましては農場や畜舎の出入り制限は勿論のこと、消毒を十分に行うと共に野鳥の出入り防止策を実行する等、徹底した対策をとることが重要だと思われまます。

また、ご存じのとおりこの伝染病は鶏卵や鶏肉により人に感染した例はありませんので、風評被害を惹起することのないよう周知徹底することも重要ではないでしょうか。

畜産いかわ 地活44号

編集●社団法人 石川県畜産協会

金沢市才田町戊部324番地2

TEL.076-258-2252 FAX.076-257-8019

URL <http://ishikawa.lin.go.jp>

E-mail tiku-17@mailhost.mitani.co.jp

印刷●能登印刷株式会社

(この指導誌は県委託の地域畜産活性化推進事業によって刊行されているものである。)